

「いたずらをする子どもに、まわりの人に迷惑をかけないように注意してあげた。」  
 「父親と一緒に銭湯によく行った。月に一回、帰りにおでん屋に寄って私はジュース、父はお酒を飲んだ。とてもおいしかった。」

「子どもを三人連れて銭湯に行った。一人で三人を見るのは大変だったが、顔見知りの方が赤ちゃんを見ていてくれたり、子ども達を洗う手伝いをしてくれたり、とても助かった。」



なつかしい銭湯

一年中で一番の厳しい寒さの日が続いていますがお元気ですか。「朝の会」で「昔の銭湯の話」が話題に上がりました。「暖房の設備も不十分な当時、寒い冬こそお風呂が欠かせなかった。身も凍るような日も、親子で抱き合うようにして銭湯に行った。」



「筆なんて持ったことがない」「下手くそだから・・・」と消極的でしたが、やり始めると「何て書こうか」と熱心に考えられ、集中して行っておりました。

一月の活動から

今から80年以上前のなつかしい風景のお話で、心が暖まりました。日本海側は例年にならない大雪。九州は鳥インフルエンザと火山灰の被害の報告。次から次へと自然災害に見まわれ、自然の前では個人がどんなに弱い存在であるか思い知らされます。これからは身近な隣近所とのつながりがますます大切になってきます。どのようにしたら良いのか、古きをたずね新しきを知る。過去の良いところと現在の良いところをミックスして、新しい仕組みを、その地域にあった方法で作っていくことの必要性が高くなってきます。具体的なことは、大河原社会福祉協議会やほっとあい（渡邊）にご相談下さい。お手伝いさせていただきます。



- ・紙芝居
- ・誕生会
- ・みんなと一緒に歌おう
- ・節分行事

二月の行事

書き初めの次は、1年の抱負を作成していただきました。朝の会のときに、今年目標・やりたいことをお一人お一人にお聞きしました。その言葉を梅の木のお紙に書いていただきました。「元気に過ごしたい」と言う声が多かったです。一月下旬は2月3日の節分に向けて鬼のお面を作成していただきました。鬼の色を何色にするか、髪の毛の色を何色にするか、表情をどうするかなど、ひとつひとつお聞きし、お手伝いしながら完成されました。表情・色ともに特徴があり、いろいろな鬼のお面が出来上がりました。



NPO法人ほっとあいからのご案内

「ほっとする・あったかい・助け合い・愛」  
 特定非営利活動法人ほっとあいは、平成10年の設立時より「住み慣れた地域で暮らしたい」と願う人々の思いに寄り添いながら活動を続けてまいりました。その時々様々なニーズに対応するために多様なサービスを展開しています。みなさまのまわりで、ほっとあいを必要とされる方がいらっしゃいましたら、担当の方までお声がけ下さい。

- 自主事業(住民参加型在宅福祉サービス)
- ・ファミリーサポートホームヘルプサービス
  - ・外出支援・移動サービス
  - ・ほっとあいの家(デイケア・ナイトケア)
  - ・おしゃべりサロンほっとあい(毎週土曜日)

- 介護保険事業
- ・居宅介護支援・訪問介護・通所介護

- 障害者自立支援法
- ・ホームヘルプサービス

- 行政委託事業
- ・軽度生活支援・障害者等移動支援
  - ・障害者等一時預かり

各事業の担当者がご相談を承ります。 ☎0224-52-8555